

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】

令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	青少年課長 正木 照雄	
こども-30	育成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	青少年課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	—
総合計画上の位置付け	分野	青少年育成	施策の方針	青少年の育成・支援

1 事業の目的

対象	青少年等
意図	次世代を担う青少年一人ひとりの自立に向けた環境づくりを推進するため。
効果	青少年に多様な体験・活動の機会を提供し、地域を支える人材を育成する。 地域に青少年が集うことができる居場所や社会参画の機会・仕組みを提供する。

2 令和6年(2024年)度実施した事業の概要

・「鎌倉市子ども・若者育成プラン」で掲げる「青少年の居場所づくり」「地域の担い手となる青少年の育成」について行政としてどういった取り組みをしていけるのか議論するため、青少年問題協議会を開催した。

・青少年指導員の主催により、子どもキャンプの企画や、指導員資質向上のための研修等を行った。また、広報紙等の発行を行い、自治町内会等への配布を行った。

・子ども会 団体に活動費等の支援を行うため、補助金を交付した。

・「令和7 年二十歳のつどい」の事業者選定に二十歳当事者の意見意向を反映させるとともに、式典開催においても二十歳当事者が企画、準備、実施まで積極的に参画した。

・青少年の居場所づくりに向け、中高生による鎌倉青少年会館リニューアル実行委員会で議論し、鎌倉青少年会館の一部を中高生の居場所「COCORUかまくら」としてリニューアルした。

・鎌倉青少年会館のリニューアルオープンを実施し、オープン後は中高生による運営委員会を組織し、中高生主体の運営を行った。

・COCORUかまくらに、専任スタッフ、学生サポーターを配置した。

・自習スペース「わかたま」の環境改善、新設を行った。

・不登校傾向の児童、生徒がフリースクールに通う費用の一部の補助を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	青少年問題協議会運営事務	鎌倉市子ども・若者育成プランの推進	—	/			
				196 / 306	204		
02	青少年指導員等支援事業	子どもキャンプ、作文コンクール等 ジュニアリーダーズの活動補助	青少年指導員 活動回数平均(回)	36 / 30		30	120%
				2,402 / 3,426	2,895		
03	子ども会助成事業	子ども会に対する補助金の交付	—	/			
				500 / 615	617		
04	二十歳のつどい事業	二十歳のつどい実行委員会による式典の企画	二十歳のつどい 参加者数(人)	1,166 / 1100		1,100	106%
				2,733 / 2,755	2,967		
05	一般事務経費	消耗品等	—	/			
				107 / 141	140		
06	居場所づくり検討事業	青少年の居場所検討に係る施設、体制の整備	—	/			
				6,994 / 7,636	3,383		
07	フリースクール等利用児童生徒支援補助金	制度創設に向けた協議検討	制度利用(申請)件数	105 /			
				7,039 / 14,400	14,400		

08						
09						
10						
		財源 内訳	国県支出金	300 / 300	300	
			地方債	/		
			その他特定財源	/		
			一般財源	19,671 / 28,979	24,306	
		事業費の合計（千円）		19,971 / 29,279	24,606	
		人件費（千円）			29,168	42,560

#### 4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.7	2.9	3.5	3.0	3.5	4.5
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.0

#### 5 評価結果

##### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	青少年問題協議会運営事務	条例に基づき設置しているため指標は設定しない。	青少年の指導・育成・更正等に関する総合的施策について調査審議し、評価することに寄与している。	令和6年度に「鎌倉市子ども・若者育成プラン」を「鎌倉市こども計画」に統合したことから、当協議会の運営等の検討を行う必要がある。
02	青少年指導員等支援事業	青少年の健全な育成のため、青少年を対象としたイベント等の実施回数、活動回数を指標とした。活動が順調に増加したことから、目標を達成した。	地域を支える人材育成、地域による青少年の見守りを牽引、地域による青少年育成の仕組みへ寄与している。	青少年指導員の高齢化や成り手不足が見られる。青少年指導員の活動内容に関する支援の広報や周知を強化する必要がある。
03	子ども会助成事業	子ども会の活動について地域の事情があるため指標は設定しない。	各地域の子ども会が行事等を行い、子どもたちの交流を図ることで青少年育成の仕組みへの寄与する。	子どもの数の減少に伴う子ども会組織率の低下が見られる。青少年の活動に対する支援の在り方を改めて考えるべきである。
04	二十歳のつどい事業	二十歳という節目の年齢を迎える青年たちを祝うため、二十歳のつどい参加者数を指標とした。新成人対象者に対し、例年通りの約80%の参加率となり、目標を達成した。	二十歳という節目の年齢を迎える青年たちが、本格的に社会の一員となっていくことを祝い、励ますことで次世代育成に寄与している。	—
05	一般事務経費	—	—	—
06	居場所づくり検討事業	居場所づくりは子ども・若者一人ひとりが自分の考えで居場所と感ずるかどうかを決めるものであり、指標は設定しない。	青少年が地域において自分の居場所を得ることで、青少年が成長、活躍できる社会づくりに寄与する。	青少年が、自宅や学校以外に安全や安心を感じることができたり、仲間と集えることができる居場所が必要である。
07	フリースクール等利用児童生徒支援補助金	不登校等により支援が必要な方に対して実施する事業であり、利用者が増えることが目標達成となるものではないため、目標は設定しない。 令和5年度からの新規事業で、令和5年度88人、令和6年度105人を補助対象としており、周知が進み申請増につながっている。	不登校傾向にある児童生徒がそれぞれの特性に合った通いの居場所(=フリースクール等)を確保していくことに寄与する。	—
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1 負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 青少年指導員連絡協議会 二十歳のつどい実行委員会 子ども会 鎌青リニューアル実行委員会 ユースサポーター(COCORUかまくら)

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 「青少年の居場所」のさらなる充実のため、自習スペースわかたま、鎌倉青少年会館の環境改善に努める。 鎌倉青少年会館(中高生の居場所「COCORUかまくら」)は施設整備だけでなく、利用者である中高生に関わるスタッフ、学生サポーターの存在が欠かせないことから、体制の拡充や育成を図っていく。 フリースクール等の利用料補助を継続し、不登校傾向にある児童生徒が自らの特性にあった居場所を見つけることのできるよう支援する。
---------	---

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	青少年指導員活動回数平均						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
青少年を対象とした取組みを地域で行うための指標となるため	目標値	30	30	30	30	30	30	
	実績値	22	30	40	39	36		
	達成率	66%	100%	133%	130%	120%		

指標(単位)	二十歳のつどい参加者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
二十歳を迎える当事者による企画、運営により式典を開催するため	目標値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	
	実績値	オンライン開催	1,171	1,149	1,199	1,166		
	達成率	—	106%	104%	109%	106%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	青少年人口1000人に対する青少年指導員の委嘱数(委嘱期間2年)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	三浦市	逗子市	葉山町	秦野市	小田原市	茅ヶ崎市
他市実績	52	133	50	19	17	57	84	80
	1.32	1.48	6.78	1.55	2.38	1.41	1.93	1.26

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣市町と比較し、青少年人口1000人に対し、同程度割合の青少年指導員を委嘱している。(青少年人口が少ない地域(三浦市、葉山町)を除く)
----------------------	--